



2025年5月13日

各 位

会 社 名 三 和 油 化 工 業 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 執 行 役 員 柳 均
(コード番号：4125 東証スタンダード・名証メイン)
問 合 せ 先 取 締 役 執 行 役 員 経 営 管 理 部 長 熊 崎 聡
(TEL 0566-35-3021)

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

当社は、2025年5月13日開催の取締役会において、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について決議いたしましたので、お知らせいたします。

詳細につきましては、添付資料「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について」をご参照ください。

以上



資本コストや株価を意識した経営の 実現に向けた対応について

2025年5月13日

- ① 現状分析
- ② 経営目標及び企業価値向上の取組み
- ③ キャッシュアロケーション（資金配分）

① 現状分析

- 外部環境悪化及び先行投資によるコスト負担増により、収益力が低下しROEが悪化

企業価値 = 経営効率 × 将来への期待

PBR
(株価純資産倍率)

ROE
(自己資本利益率)

PER
(株価収益率)

	21/3期	22/3期	23/3期	24/3期	25/3期
PBR	—	1.90倍	1.37倍	0.94倍	0.54倍
ROE	14.1%	16.4%	12.8%	9.0%	4.9%
PER	—	11.6倍	10.7倍	10.4倍	11.0倍

※ 2021年3月期は未上場であったため、PBR・PERの記載はしていません。

① 現状分析

- 利益率悪化及び自己資本の増加により、当期純利益率及び財務レバレッジが低迷

$$\text{ROE} = \text{当期純利益率} \times \text{総資産回転率} \times \text{財務レバレッジ}$$
$$\text{ROE} = \frac{\text{当期純利益}}{\text{売上高}} \times \frac{\text{売上高}}{\text{総資産}} \times \frac{\text{総資産}}{\text{株主資本}}$$

	21/3期	22/3期	23/3期	24/3期	25/3期
ROE	14.1%	16.4%	12.8%	9.0%	4.9%
当期純利益率	5.8%	8.1%	7.6%	6.7%	3.7%
総資産回転率	0.76回	0.81回	0.82回	0.75回	0.77回
財務レバレッジ	3.2倍	2.5倍	2.0倍	1.8倍	1.7倍



② 経営目標及び企業価値向上の取組み

- 意識する経営目標として以下の項目を設定
- 株主資本コスト、WACCと資本利益率を管理し、資本コストを意識した経営を実践

	25/3期（実績）	28/3期（目標）	31/3期（目標）
売上高	160億円	210億円	350億円
営業利益	8.3億円	17億円	42億円
ROE	4.9%	8.0%	10.0%
ROIC	3.3%	4.4%	6.6%
マテリアルリサイクル数量	2.6万 t	3.9万 t	5.4万 t
CO ₂ 削減量 (2021年度比)	—	—	48%

② 経営目標及び企業価値向上の取組み

ROE向上に対する考え方

	2025年3月期 (実績)	2028年3月期 (目標)	ROE向上のための考え方と施策
ROE	4.9%	8.0%	<ul style="list-style-type: none"> 財務安定性を考慮しながら、中期的に望ましい水準としてROE8.0%を目標値とする グランドビジョン2030達成に向け、以降はより高い水準を目指す
当期純利益率 	3.7%	5.4%	<ul style="list-style-type: none"> 半導体・電池・電子部品等の成長分野への注力 利益率の高い事業（リサイクル・エンジニアリング）への注力
総資産回転率 	0.77回	0.70回	<ul style="list-style-type: none"> スクラップアンドビルドによる低採算性設備の整理 政策保有株式等の整理
財務レバレッジ	1.7倍	2.1倍	<ul style="list-style-type: none"> 積極的に負債調達を活用し、資本コストを圧縮 グランドビジョン2030達成に向け、以降は自己資本比率40%（財務レバレッジ2.5倍）程度を目指す

PER向上に対する考え方

開示情報の充実化

● 決算説明資料の発行

- 2022年3月期年度決算より四半期ごとに発行

決算説明資料▶



● サステナビリティレポートの発行

- 毎年9月に代表者コメントや非財務情報を開示
- 内容を充実化し、2025年度は統合報告書として発行

サステナビリティレポート▶



- 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応の開示を継続的に実施

積極的な対話

● 株主、機関投資家との面談実施

- 四半期ごとに20件程度の投資家様とIRミーティング実施

● 決算発表、説明会の開催

- 機関、個人投資家を対象として、毎年度中間及び期末に開催



▲ 決算説明会



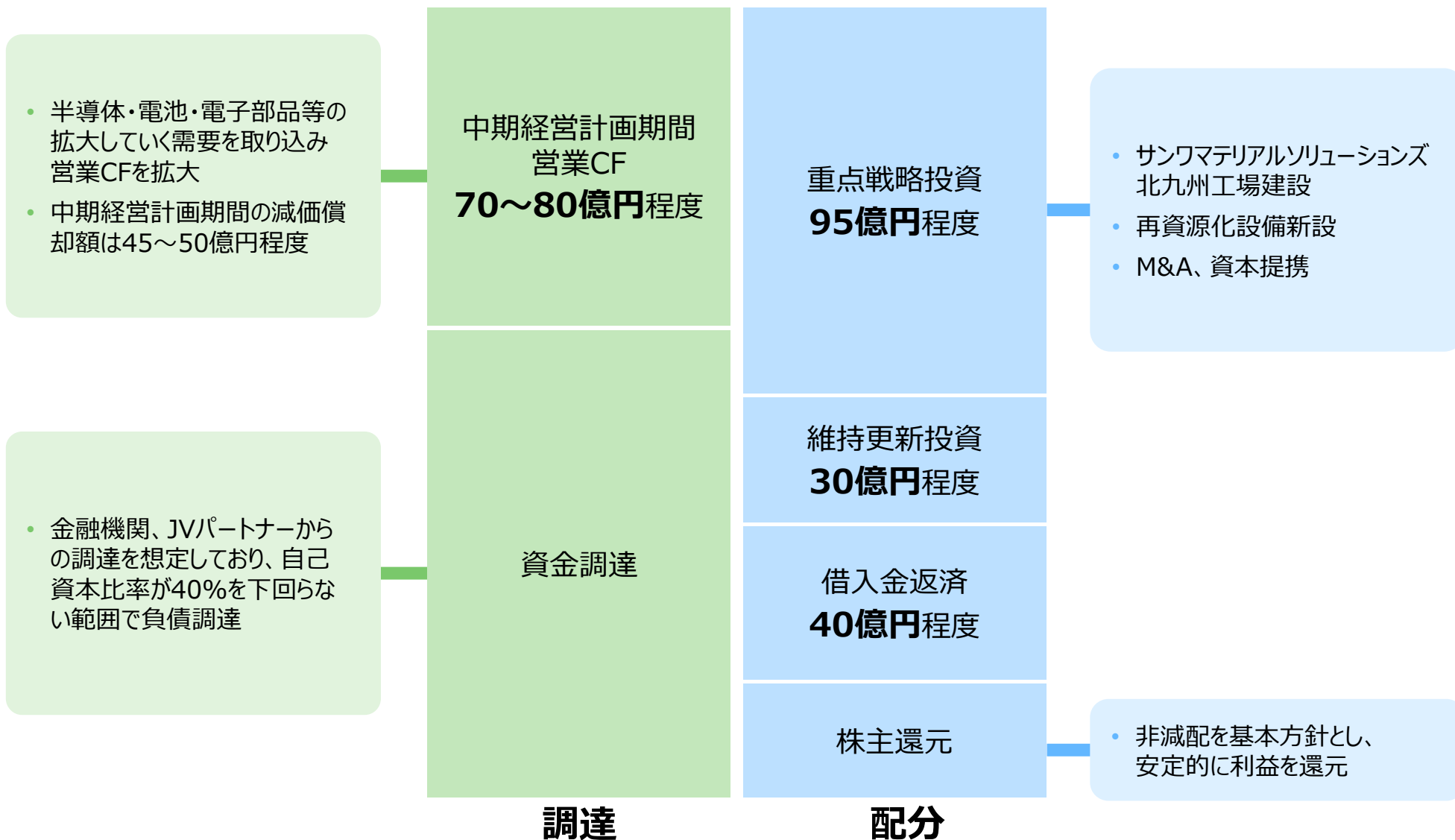
▲ 名証IR EXPO

● IR EXPO等への出展

- 会社の認知度向上を目的とし、個人投資家を中心に当社事業の説明や今後の展望について説明会を実施

③ キャッシュアロケーション（中期経営計画期間中想定）

- 財務健全性を堅持しつつ、資本効率性の向上に向けたキャッシュアロケーションを実施



【本資料及び当社IRに関するお問合せ先】

三和油化工業株式会社

TEL 0566-35-3021（経営管理部）

URL <https://www.sanwayuka.co.jp/>

本資料に記載されている、将来の業績に関する計画、見通し、戦略などは現在入手可能な情報に基づき判断したものであり、リスクや不確実性を含んでおります。

実際の業績は、様々な重要な要素により、大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。